神奈川県央地域の産業と企業

オーネックス

熱処理技術の総合デパート

オーネックスは、1951年創業の熱処理専業メーカー。蓄積された技術は浸炭熱処理を中心に真空熱処理、高周波熱処理、窒化熱処理、セラミックコーティングなど、幅広い熱処理技術の総合デパートとして業界をリードする。

雰囲気熱処理の制御技術では、浸炭処理や窒化処理において最先端の技術を導入しレベルアップを図っている。

同社の特徴のひとつである大型品の熱処理技術では、半世紀以上のノウハウに裏付けられた低歪熱処理などの高い技術力を持ち、他社の追随を許さないと同時に国内のほか海外からも高く評価されている。

新たに導入したガス窒化炉

大和ケミカル

多様なゴム素材で製品開発

大和ケミカルは、自動車や家電向けゴム製品や樹脂部品の製造を主力とする。

取り扱うゴム素材も天然ゴム、NBR、ブチルゴム、アクリルゴム、シリコーンゴムなど種類が豊富で、使用する条件や環境にあわせ、素材の選定や形状などを考慮し、製品開発に取り組んでいる。

製造拠点は、神奈川県厚木市の本社工場のほか、東南アジアのタイに二つの工場を持つ。1999年にバンコクから130キロメートルの地にタイ第1工場を設立。2005年には、第1工場から車で15分の場所に第2工場を設立した。第2工場では、主にブロー成形品とゴム成形品を生産。タイ国内の大手日系メーカーに販売している。

タイ第1工場内

東邦電子

センサからシステムまでを創造する

東邦電子は「センサからシステムまでを創造する」をコンセプトに、各種デジタルコントローラを中心に、レコーダ、温度センサ、SSR、サイリスタから半導体製造工程で必要な検査治具のプローブカードに実績がある。

デジタルコントローラでは、新PIDアルゴリズムを採用し、制御性を向上させ、簡易プロコン機能を搭載したTTM−200シリーズ(写真左)。新たにTTM−204に百分の1度Cの測定分解能機種をラインナップした。定置コントローラのTTM−000シリーズやTTM−04SP、そのほかプログラムコントローラTTM−339、過昇防止器として最適なデジタル指示計TTA−002などをラインナップしている。

温度センサ、プローブカード(写真右)では、顧客のニーズに沿った仕様の製品を製作する。また、冷却性能に優れる超低温冷凍庫や情報セキュリティソフトウエアの分野にも積極的に参入している。

セラリカNODA

農薬フリーワックス「Fシリーズ」新発売

セラリカNODAは、来年創業百八十周年を迎える老舗ワックスメーカー。農薬フリーワックス「Fシリーズ」を10月より新発売。厚生労働省認定機関で約三百種の農薬検査を行い、検出限界以下を実現した。今話題となっている遅効性農薬によるミツバチの世界的な減少をくい止め、環境を向上させる製品を目標とする。高精製のミツロウ、コメヌカロウ、モクロウの3種類がある。いずれも医薬、化粧品、食品向けなど、特に高い安全性を求められる用途に最適。ISO14001の環境目標においても、特に農薬フリーミツロウの売上達成を一番にしている。

農薬フリーの「コメヌカロウ」「ミツロウ」「モクロウ」

レヂテックス

洗浄剤の製造販売スタート

レヂテックスは、10月より洗浄剤の製造販売を本格的に開始した。本社隣接地に工場を新設して増産に備える。製造販売する製品は、洗浄剤6種、除菌・漂白剤3種。

主力の粉末マルチクリーナー「レヂキュア PM1」は、洗浄、除菌、消臭の機能を持ち、一般家庭から業務用までと使用範囲が広い。除菌力が強く、酸素により細菌細胞の組織を酸化させ、大腸菌や黄色ブドウ球菌などを死滅させる。その効果を評価し、大手特別養護老人ホームが導入した。また、食堂やファミリーレストランなどに設置されたグリストラップ(排水溜り)の洗浄や希釈した洗浄液に食器を浸け置き洗いする事によってこびり付いた茶渋、油汚れを落とし、除菌できる。

高機能洗浄剤

東京コスモス電機

電池不要の無線センサー

東京コスモス電機は、IEEE802・15・4/ZigBee準拠の超低消費電力で最大3キロメートルの超長距離通信が可能な無線モジュール「TOCOS ワイヤレスエンジンTWE−001」と「同 TWE−001 STRONG」の応用例として、電池不要の無線センサーを提案する。

太陽電池および高精度温湿度センサーを内蔵し照度センサーなどを追加できる。24ミリ×9・5ミリメートルの屋外用太陽電池でも、蛍光灯の低照度下で3分に1回程度、屋内照明に最適化された太陽電池では数秒に1回の送信を可能とする。

無線センサーは、ワイヤレスエンジンの評価開発用のキットとして技術情報とともに提供される。

無線モジュールTOCOSワイヤレスエンジン「TWE−001」と「TWE−001 STRONG」